

PURIC Water Information

イオンクロマトグラフィーによる超純水の評価例

イオンクロマトグラフィーにおける超純水※は、試薬・溶離液調整やブランク測定などあらゆる場面で使用されます。しかし、水中に不純物が含まれていると、ゴーストピークの出現やベースラインのノイズを引き起こすなど分析精度に悪影響を与えるため、高純度の超純水を使用する必要があります。そこでピューリックαの超純水を最新のイオンクロマトグラフィーで評価した結果をご紹介します。

・超純水装置

ピューリックPR-FP-0120α-MT1セット (オルガノ株式会社)
IoT遠隔監視システム オルトピアDW(α01用)

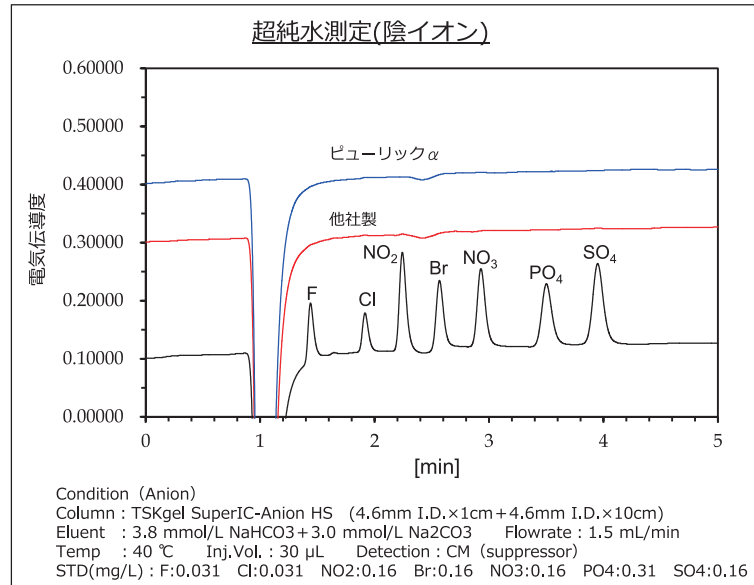
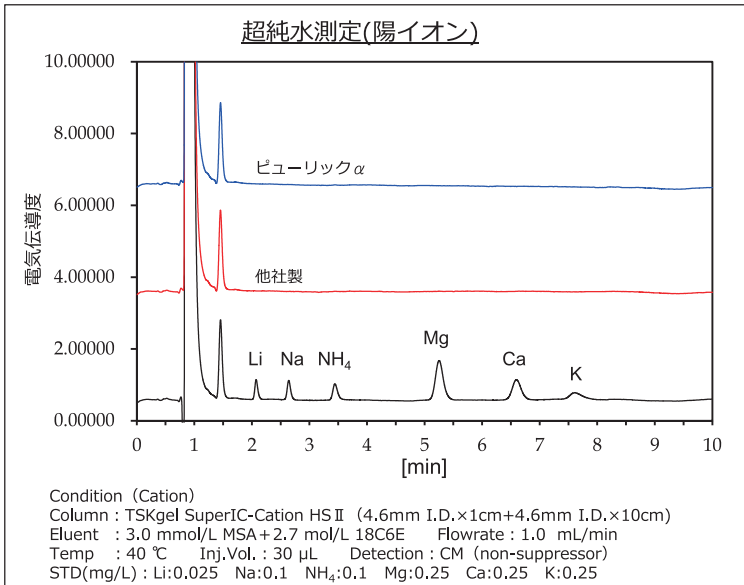
・分析装置

イオンクロマトグラフ IC-8100 (東ソー株式会社)



※イオンクロマトグラフィー通則 (JIS K 0127) では、『溶離液に用いる水、検量線用溶液を調製する水は分析目的に応じて JIS K 0557 に規定する A2~A4 又はこれと同等以上の水を使用する』と記載されています。

・測定結果



測定結果について

陽イオン、陰イオンともに他社製超純水装置と同等グレードの水質でありピューリックα01の超純水がイオンクロマトグラフィー用水として適している事を確認しました。また、他社製の超純水装置は採水時のTOCが2.7ppbを示していたのに対して、オルガノの超純水装置は1ppb以下であったことから、低TOCの超純水を安定的に製造できるピューリックαの特長が出ています。

ピューリックαをご使用頂いて・・・

オルトピアDW(α01用)は警報時に装置の状況を説明しなくても迅速に対応してもらえる、消耗品交換警報時は水質に問題なければ継続使用をし、実際に水質が悪化し始めてから交換提案してもらえるので、既設装置と比較してランニングコストの大幅削減につながった等のコメントを頂きました。

データご提供：東ソー株式会社 バイオサイエンス事業部 様

オルガノ株式会社

機能商品事業部
〒136-8631 東京都江東区新砂1-2-8
Tel:03-5635-5193 Fax:03-3699-7220
<https://www.organo.co.jp/products/>

問い合わせ



資料請求・見積等
ご相談はこちら



製品紹介ムービー



装置の使用風景が
ご覧いただけます



YouTube



チャンネル登録は
こちら

